



木材をふんだんに使ったHINOCCAの内観

(谷川建設提供)

国産材活用のくつろぎ空間

グッドデザイン受賞

谷川建設（長崎市、谷川喜一社長）の一戸建て住宅「HINOCCA（ヒノカ）」が1日、日本デザイン振興会の本年度「グッドデザイン賞」に輝いた。長野県産の木曽ヒノキを中心に国産材を活用したくつろぎの空間を提案。審査員から「わが国の住宅素材の良さを追求した完成度の高い住宅」と評価された。

谷川社長が家全体の方向性を練り、商品企画室の高橋宏樹さんが設計を担当して昨年1月に発売した。今回の受賞住宅は福岡市東区の住宅展示場であり、本県では来年2月末にオープンする西彼時津町の住宅展示場にモデル住宅を建設するという。

谷川建設一戸建て「HINOCCA」

同社は国産材使用による林業支援に力を入れていく。ヒノカは柱や梁（はり）だけでなく、内装でも格子などで木材をふんだんに取

(森田尚子)